

松下 功

生誕70周年記念

Memorial Concert 2022

2022年

9/16 [金]

18:00 開場 18:30 開演

会場：紀尾井ホール

全席自由 一般 ¥5,000 / 学生 ¥3,000

【チケットお取り扱い】

ミリオンチケット 03-3501-5638 (Webでのお申込みはセブンイレブンでのお引取りとなります)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード：213-932

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

第1部 「若き松下功のエネルギー」

■ Fantasy (1971) ファゴットとピアノのための
Fg. 依田晃宣 Pf. 土屋律子

■ ソナタ (1974) オーボエとピアノのための
Ob. 宮村和宏 Pf. 土屋律子

■ 時の糸 I (1984) 弦楽四重奏
カルテット・オリブ：Vln. 澤亜樹 Vln. 福崎雄也 Vla. 阿部哲 Vc. 山澤慧

第2部 「邦楽・邦楽器と共に 海への想いを込めて」

■ 海の空間 (1990) ヴァイオリン、箏とピアノのための
Vln. 長原幸太 箏 福永千恵子 Pf. 土屋律子

■ 藤戸 (1999) 弦楽四重奏
Vln. 澤和樹 Vln. 福崎雄也 Vla. 阿部哲 Vc. 黒川正三

■ 海へ、そして夢に (2015) 10人の奏者と尺八のための
Cl. 四戸世紀 Fg. 依田晃宣 Hrn. 笠松長久 Vib. 菅原淳 Hp. 堀米綾
Vln. 長原幸太 Vln. 澤亜樹 Vla. 阿部哲 Vc. 黒川正三 Cb. 西山真二 尺八 神令

第3部 「アンサンブル東風と共に」

指揮：高関 健 演奏：アンサンブル東風
コンサートマスター：澤和樹

■ 交響曲「陀羅尼」 (2002) 室内オーケストラ版

■ フルート協奏曲 JODO (浄土) (2017) 一管編成版 初演
フルート独奏：山田恵美子

Isao Matsushita コンサートに寄せて Memorial Concert 2022

生誕

一昨年、昨年に引き続き、今年も9月16日に『松下 功 MEMORIAL CONCERT 2022』を開催したいと考え、お声がけさせて頂いたところ、このように素晴らしい演奏家の皆さま方が出演を快諾してくださいました。本当にありがたく思っています。

第1部は「若き松下功のエネルギー」が感じられる作品として、先ずは浪人時代に自分で好きなように書いたという、ファゴットとピアノのための《ファンタジー》(1971)。藝大1年次の提出作品、オーボエとピアノのための《ソナタ》(1974)。この2作品の共通点や進歩等を楽しんで頂けたら、と思います。

そして第1部の最後は、ドイツ留学時代(当時の西ベルリン)の弦楽四重奏曲《時の糸I》(1984)。この作品はメンヒェングラートバッハ市国際作曲コンクールで1位を受賞しました。



©木之下 晃

“現代社会が生み出した、ある特殊空間に暮し、現代社会の平和と、その陰に隠された危機の共存を垣間見た。

限りある時間と空間、そして無限なる時間と空間の狭間に生きる我々の緊張と緩和を表現しようとした” — 松下 功

第2部は「邦楽・邦楽器と共に 海への想いを込めて」として3作品を選びました。1990年、大型クルーズ客船・おりえんと びいなす号の処女航海(上海までの9日間のクルーズ)に招かれて、洋上で作曲・初演した、ヴァイオリン、箏とピアノのための《海の空間》(1990)。楽しい思い出の詰まった作品です。

続いては、能と弦楽四重奏のための《藤戸》(1999)。この作品は後に本人が弦楽四重奏版、能と弦楽合奏版等に編曲していますが、今回は弦楽四重奏版を演奏します。昨年8月、能の野村四郎先生(人間国宝・野村幻雪)が逝去されました。生前、松下が大変お世話になった先生への感謝と追悼の気持ちを込めて、二人の最初の共同作業で生まれたこの作品を野村先生を偲びながら聴いていただけたら、と思います。

第2部の最後は、2011年の東日本大震災の後、2015年の復興イベント『風景と心の復興∞』の委嘱で作曲した《海へ、そして夢に》(2015)。初演は美しい東北沿岸部の映像と共に、またその後は、舞踊と共に等々、様々な分野の皆様と演奏されてきましたが、今回は楽器の演奏のみで聴いて頂きたいと思います。

“命を育む静かな東北の海。その豊潤な海の風景に誘われながら、ただ心静かに調べを綴ってみた” — 松下 功

第3部は松下と長年、活動を共にしてきた「アンサンブル東風と共に」として、高関健さんの指揮で2作品を聴いて頂きたいと思います。高関さんと松下は殆ど同じ時期をベルリンで過ごしていたのですが、松下の生前は本人が自分で指揮することが多くて、高関さんに指揮して頂く機会がありませんでした。

2002年7月に『人として50年』というユニークなタイトルの公演で初演された《陀羅尼》(2002)。初演時は書のパフォーマンスが入った二管編成で派手に行いましたが、今回は室内オーケストラ版(一管編成)で聴いて頂きたいと思います。

そしてプログラム最後の作品は、私たちと家族ぐるみで親しくしていた元ベルリンフィル首席奏者のA.Blau氏と共に作曲を進めたフルート協奏曲《JODO》(浄土)(2017)。2016年に仏教伝道文化賞・沼田奨励賞を頂いたご縁もあり、翌17年『第18回仏教音楽祭〜平和の光』でBlau氏のソロによって初演されたこの作品も、初演時は二管編成でしたが、今回は一管編成版(本人の編曲)の初演で、ソリストには私たちと半世紀にも及ぶよき友人で素晴らしいフルート奏者・山田恵美子さんにお願いしました。

“永遠なる清められた世界を音で表現したいと願って書いた作品” — 松下 功

たくさんの素晴らしい方々との出会いに恵まれ、作品を生み出すことができた松下功。

関わってくださった全ての皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。

松下功がずっと求め続けてきた平和への祈り、そしてコロナ収束への願いを込めて・・・

2022年2月 土屋(松下) 律子

✿ 松下功作品 出版楽譜 東京ハッスルコピーより発売中



フルート協奏曲
「JODO」
スタディスコア
¥2,200(税込)



2022年 3月発売
「Fantasy」
スコア・パート譜
¥1,650(税込)

その他演奏曲も出版予定

「オーボエとピアノのためのソナタ」
「海へ、そして夢に」 etc.

東京ハッスルコピーオンラインストア

Online Store



東京ハッスルコピー



<http://www.hustlecopy-store.com>